

2018年度・前期 授業計画(シラバス)

学 科 名	言語聴覚科	授業科目区分(基専)	専門
授 業 科 目	嚥下障害概論	担 当 教 官	上羽 悟
対 象 学 生	1年	履 修 学 期	前期
必修・選択	必修	授 業 形 態	講義
授 業 内 容	講義・演習・グループワーク		
到達目標	嚥下障害の概要を理解できる、評価法の経験・習得ができる		
授 業 日 程	第1回 嚥下障害の概要1 第2回 嚥下障害の概要2 第3回 嚥下運動の動態1(嚥下5期について) 第4回 嚥下運動の動態2(嚥下の期・相・プロセスモデルについて) 第5回 嚥下運動で使用する神経・筋 第6回 嚥下運動で使用する神経・筋 第7回 脳血管障害による嚥下障害 第8回 脳血管障害による嚥下障害 第9回 嚥下障害の評価法(スクリーニング検査) 第10回 嚥下障害の評価法(スクリーニング検査) 第11回 嚥下障害の評価法(スクリーニング検査) 第12回 嚥下障害の評価法(VF検査) 第13回 嚥下障害の評価法(VE検査) 第14回 多職種連携 第15回 全体まとめ		
教科書・教材等	書 名：摂食嚥下リハビリテーション第3版 著者名：才藤栄一、植田耕一郎 出版社：医歯薬出版		
評価方法	定期試験		
留意点	* 質問等は授業内および授業外で対応		

2018年度・前期 授業計画(シラバス)

学 科 名	言語聴覚科	授業科目区分(基専)	専門
授 業 科 目	高次脳機能障害学Ⅱ	担 当 教 官	加藤 真由美
対 象 学 生	2年	履 修 学 期	前期
必 修・選 択	必修	授 業 形 態	講義
授業内容	1年次の高次脳機能障害をより深く理解してもらう。実習先で出会った患者様の様子を高次脳機能障害の有無についてわかるようにする。		
到達目標	まず、失語・失行・失認について復習を行う。その他の高次脳機能障害については、興味を持って患者様と接することができるようビデオを用いて教えていく。最終的には高次脳機能障害の患者様の訓練を立案できるようにする。		
授業日程	第1回 高次脳機能障害についての概論 第2回 画像診断(CT, MRI, 等) 第3回 高次脳機能者のリハビリ 第4回 記憶障害 第5回 記憶障害の検査 第6回 離断症候群 第7回 視覚認知の障害 第8回 視空間認知:半側空間失認・バリントン症候群 第9回 聴覚認知の障害 第10回 聴覚認知の障害 第11回 聴覚認知の障害・ゲルストマン症候群 第12回 認知症 第13回 認知症 第14回 認知症のまとめ 第15回 全体まとめ		
教科書・教材等	書 名: 高次脳機能障害学 著者名:石合純夫 出版社:医歯薬出版		
評価方法	定期試験		
留意点	* 質問等は授業内・授業外で対応		